

4 重点的に取り組む主な経営課題

様式4

【経営課題1:地域力】

○経営課題の評価結果の総括

内容	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括
<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの継続・発展のため、より多くの区民が参加・参画できるよう、より一層、開かれた組織運営の地域コミュニティづくりを進める必要がある。 ・多様な区民が参画して地域活動を発展させていくためには、若い世代を中心に地域活動の認知度向上と新たな担い手づくりの支援が必要である。 ・上記をかなえるために、人・モノ・情報等が流通する仕組みが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内全ての地域活動協議会への補助金交付、6地域へのプロモート事業助成、中間支援組織による支援などを実施し、開かれた組織運営と会計の透明化の確保への取り組みが進んでいる。 ・「未来わがまち推進会議」の活動支援、「ひがしなり街道玉手箱」の開催、「ふれ愛バンジー」を活用した区民公益活動の支援など、東成区の創意工夫による取り組みを行い、区民の地域活動への参画機会を創出するとともに、新たなまちづくりの担い手づくりにつながった。 ・区民活動の情報が流通する仕組みとしてブログや掲示板を活用したが、十分な成果があらわれなかった。今後は広報紙やツイッターなどの広報媒体を適切に組み合わせて活用し、情報発信の強化に努めていく。

[戦略1-1:区民主体のまちづくりの仕組みの構築]

(1)戦略の有効性評価

戦略のアウトカムに対する有効性	評価結果(※1)	課題と今後の対応方向 ※評価結果が「イ」の場合のみ、記載
戦略における、地域活動協議会に対する区民の認知は目標に達していないが、地域活動協議会補助金の活用や中間支援組織の活用は、一定の成果が表れている。今後、中間支援組織と連携して、地域自らの情報発信力を向上するための支援を強化するとともに、区役所としても一層積極的に情報発信を行うことで、更なるアウトカムの実現に寄与すると想定されるため、戦略はアウトカムに対して有効である。	ア	(課題) (対応方向)

(※1)戦略のアウトカムに対する有効性
 ア:有効であり、継続して推進
 イ:有効でないため、戦略を見直す

(2)戦略の進捗状況とアウトカムの達成状況

アウトカム	アウトカムの達成状況	前年度数値	評価結果(※2)	
			個別	全体
<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる地域で、日頃から話をする相手が増えたと感じている区民の割合:平成26年度までに60%以上 ・住んでいる地域で、地域団体の活動内容や会計の状況を知る機会が増えたと感じている区民の割合:平成26年度までに60%以上 ・地域活動を始めたいときにどうすればいいかなど地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている区民の割合:平成26年度までに80%以上 ・地域運営にさまざまな活動主体が参画し、会計をオープンにするなど、地域が一体となって運営されていると感じている区民の割合:平成26年度までに80%以上 ・地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じているものの割合:平成26年度までに100% ・中間支援組織による支援を必要とする団体のうち、適切な中間支援組織による支援を受けることができる環境が整備されていると感じている団体の割合:平成26年度までに60%以上 	36.30% 37.80% 31.90% 59.40% 63.90% 60.00%	34% 35% 34% 45% - -	B	B
戦略	戦略の進捗状況	※評価結果が「C」の場合のみ、記載	評価結果(※3)	b

(※2)アウトカムの達成状況
 A:順調
 B:順調でない

(※3)戦略の進捗状況
 a:順調
 b:順調でない
 c:中間アウトカム未設定

(3)具体的取組の目標達成状況と戦略に対する有効性

取組内容	業績目標	目標達成状況・取組実績	評価結果(※4)	戦略に対する有効性(※5)	課題	改善策	市政改革プランとの関連
【1-1-1 地域活動協議会に対する財政的支援】 ・準行政的組織として機能する地域活動協議会に対して、活動内容を指定せず、地域活動協議会に委ねる財政的支援を行うことで、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性を確保しながら、自律的な地域運営を促進し、地域コミュニティの機能を向上させる。 ・地域団体等に交付した公金について、ホームページ等を活用し積極的に公表を行う。	東成区全地域が地域活動協議会補助金を活用し、地域活動をマネジメントしている。 【撤退基準】 本補助金を活用する地域が半数未満であれば、事業を再構築する。	【目標達成状況】 区内全11地域に地域活動協議会補助金を交付し、地域の実情に応じた活動が行われた。 【取組実績】 ・区内全11地域より地域活動協議会補助金申請があり、全地域に補助金を交付 ・地域活動協議会事業では、団体間の連携が一層促進されており、広く住民全般を対象とした市民活動が包括的に行われた。	①	(i)	○	-	1-(2)-ア ②イ 1-(4)-ア ②ウ 1-(4)-イ
【1-1-2 地域活動協議会に対する新たな担い手づくり支援】 地域活動の新たな担い手づくりのために、初期プロモート事業のための補助金を交付し、地域活動協議会が、実情に応じた活動の周知や参画へのアプローチを行うことを支援する。	既に地域活動協議会を形成している地域が、本補助金を活用し、初期プロモート事業を行う。 【撤退基準】 本補助金を活用する地域が4地域未満であれば、事業を再構築する。	【目標達成状況】 6地域に補助金を交付し、6事業が実施された。 【取組実績】 地域特性に応じて本補助金が活用されている。また、中間支援組織の活用により、地域活動協議会の周知認知度向上プロモート支援として有効であった。	①	(i)	○	-	1-(4)-ア ②ア

<p>【1-1-3 地域コミュニティの支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自律運営にかかる積極的支援を中間支援組織が区役所と連携して、地域の特性や実情に応じて行う。地域活動協議会等に、広報や部会運営について先行地域の事例紹介などの支援を中心に行う。 ・中間支援組織を活用し、より一層民主的で開かれた組織運営を支援するとともに、勉強会や意見交換会等を通じ、ファシリテート力やコーディネート力向上などより専門的な支援を行う。 ・民間企業やNPOなど、幅広い団体が参画している地域もあるが、更に広がるよう、中間支援組織を活用し、勉強会等を実施する。 ・法人化取得など、更に高度な地域運営の仕組みを、地域自ら適切に判断できる状態をめざす。 ・地域公共人材に関する周知を高めるとともに、地域活動を通じて幅広く人材づくりを支援する。 <p>・まちづくり支援員が地域に出向き活動する日数：60日 ・意見交換会、勉強会の開催：11回</p>	<p>①中間支援組織による支援により、地域の活動や地域課題について話し合うことが活発になっていると感じている校区等地域の割合：60%以上</p> <p>②中間支援組織の支援により、地域活動協議会の会計処理について円滑に進んでいると感じている校区等地域の割合：60%以上</p> <p>【撤退基準】 上記目標がそれぞれ50%未満であれば、支援内容を再構築する。</p>	<p>【目標達成状況】 ①51.4% ②55.4%</p> <p>【取組実績】 中間支援組織が積極的に地域に出向き、地域実情に応じた支援を行った。まちづくりの専門家として積極的に会計支援や組織運営支援を行うとともに、まちづくりのネットワークを活用し、勉強会や交流会などを実施した。</p>	<p>② (i)</p>	<p>○</p>	<p>中間支援組織を活用しながら、より一層民主的で開かれた組織運営を支援するとともに、自律的な地域運営組織をめぐらし、より専門的な支援を行う必要がある。</p>	<p>中間支援組織の活用を図りながら、勉強会や交流会を通じて、引き続き自律的な地域運営を支援する。</p>	<p>1-(2)-ア②ア 1-(2)-イ① 1-(3)-ア② 1-(3)-イ④ 1-(4)-ア②ウ 1-(6)⑤</p>
<p>【1-1-4 活力ある地域社会づくりの支援】</p> <p>地域のイベントや活動については、これまで地域活動へのかかわりが薄かった人たちははじめ、より多くの区民に参画してもらえるよう、区広報紙やHPなどに情報発信の場を提供する。また、中間支援組織を活用しながら、住民同士のつながりが広がるよう支援を行う。</p> <p>・地域情報の掲載：12回</p>	<p>地域で住民同士の「つながり」や「きずな」について、大切であると感じる住民の割合：95%以上(区民モニター)</p> <p>【撤退基準】 上記目標が80%未満であれば、支援内容を再構築する。</p>	<p>【目標達成状況】 90.4%</p> <p>【取組実績】 ひがしなりだよりやホームページを活用し地域活動に関する情報発信を実施した。</p>	<p>② (i)</p>	<p>○</p>	<p>地域活動を多くの区民に知ってもらうためには、積極的に情報発信する必要がある。</p>	<p>引き続き、情報発信に努めるとともに、中間支援組織を活用しながら、つながりが広がるよう支援する。</p>	<p>1-(1)①</p>

(※4) 具体的取組の目標達成状況

- ①: 目標達成(見込)
 - (i) 取組は予定どおり進捗
 - (ii) 取組は定どおり進捗していない
- ②: 目標未達成(見込)
 - (i) 取組は予定どおり進捗
 - (ii) 取組は予定どおり進捗していない
- ③: 撤退基準未達成

(※5) 具体的取組の戦略に対する有効性

- : 有効
- ×: 有効でないため見直す
- : 中間アウトカム未設定(未測定)

[戦略1-2:多様な協働による地域活動の活性化]

(1)戦略の有効性評価

戦略のアウトカムに対する有効性	評価結果 (※1)	課題と今後の対応方向 ※評価結果が「イ」の場合のみ、記載
区民の公益活動情報の収集・発信の点ではアウトカムが順調に推移していないが、暗越奈良街道を活用したまちおこしイベント「ひがしなり街道玉手箱」では、区内外の市民団体やNPO、企業などが連携するとともに、新たに地域活動に関わる人材が生まるなどの成果が出ている。今後、こうした取り組みの情報発信を強化していくことにより、アウトカムの進捗が見込めるため、戦略はアウトカムに対して有効である。	ア	(課題) (対応方向)

(※1)戦略のアウトカムに対する有効性
ア:有効であり、継続して推進
イ:有効でないため、戦略を見直す

(2)戦略の進捗状況とアウトカムの達成状況

アウトカム	アウトカムの達成状況	前年度数値	評価結果(※2)	
			個別	全体
・まちづくり活動に参加したことがある区民の割合:平成27年度末までに23年度数値より20%増	30%	25%(▲5%)	A	B
・地域活動を始めたいときにどうすればよいかなど地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている区民の割合:平成26年度までに80%以上	32%	34%	B	
・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合60%以上	24%	26%	B	
戦略	戦略の進捗状況 ※評価結果が「C」の場合のみ、記載			評価結果 (※3)
・区役所としてつながりの機会や場の提供、区民の公益活動に係る情報の収集・発信を支援することにより、区民や区内の各種団体がこれまでの枠組みにとらわれず、成長の手法を取り入れたり、連携したりして、活発な活動ができるよう環境整備を行う。 ・「ひがしなり街道玉手箱」の開催を通じて、広域・多様な区民・市民のネットワークの活性化を図るとともに、玉手箱を東成ブランドとしていくことで、ネットワークの継続的発展を図る。				b

(※2)アウトカムの達成状況
A:順調
B:順調でない

(※3)戦略の進捗状況
a:順調
b:順調でない
c:中間アウトカム未設定

(3)具体的取組の目標達成状況と戦略に対する有効性

取組内容	業績目標	目標達成状況・取組実績	評価結果 (※4)	戦略に対する有効性 (※5)	課題	改善策	市政改革プランとの関連
【1-2-1 区民による公益的活動の創出・発展支援事業】 ふれ愛バンジーの場において、ラウンドテーブルの開催(年12回)や、活動団体の設立や発展のための相談(週1回)、区民の公益活動に係る情報の収集・発信の掲示板の提供等を実施し、区民主体の公益的活動の創出や持続的発展の支援をする。 また、提案制度により公益活動として委託する提案を受け、事業化を図る。	①ふれ愛バンジーを活用して公益的活動を創出または発展させた団体:10団体 ②区民からの提案件数:3件 【撤退基準】 ①上記目標が4団体未満であれば、事業を再構築する。 ②上記目標が1件もない場合は、事業を再構築する。	【目標達成状況】 ①ふれ愛バンジーを活用して公益的活動を創出または発展させた団体:19団体 ②区民からの提案件数(ふれ愛バンジーでの公益的なイベントアイデア募集に対する提案):2件 【取組実績】 ・公益的活動に関するセミナー「バンジートーク」の開催:5回) ・CB/SBや市民活動に関する相談窓口の設置 ・ふれ愛バンジー公式ブログのリニューアル ・ふれ愛バンジーフェスタ(市民活動団体交流会):1回	② (i)	○	提案制度については、事業提案を受けてから予算要求するのではなく、事前に予算枠を確保することとし、制度構築を行っている。	ふれ愛バンジーが活発に利用されるよう、補助金を受けるにあたっての公益的活動を要件としたふれ愛バンジーまちづくり活動支援事業を創設した。 提案制度については、市民協働による公募型提案委託事業として実施する。	1-(3)-ア① 1-(5)-ア② 1-(5)-イ③ 2-(3)-ア
【1-2-2 広域・多様な区民・市民によるネットワークと東成ブランドイベントの育成事業】 暗越奈良街道をテーマにした「ひがしなり街道玉手箱」の開催(企画チーム会議週1回、実行委員会年3回、参加者交流会年2回)を通して、市域を越えた市民や区民の交流、連携による広域・多様な市民ネットワークの形成を図るとともに、街道玉手箱を東成のブランドとなるイベントに発展させる。	①隣接市等との連携事業数:5件 ②イベント参加団体数:90団体 【撤退基準】 ①上記目標が3件未満であれば、事業を再構築する。 ②上記目標が50団体未満であれば、事業を再構築する。	【目標達成状況】 ①隣接市等との連携事業数:5件 ②イベント参加団体数:91団体 【取組実績】 ・企画チーム会議の開催:31回 ・実行委員会の開催:1回	① (i)	○	多様な主体の参画するイベントとなったが、今後も継続的に実施できる仕組みをつくっていく必要がある。 また、イベント内容により参加団体数が左右される。	運営委員会事務局が自主運営できるよう、他都市での成功事例を視察するなど自立に向けた支援をしていく。	1-(3)-ア② 2-(3)-ア
【1-2-3 未来わがまち推進会議を要とした区民主体のまちづくり活動への支援事業】 ・東成区の将来像である「わがまちビジョン」の達成に向け、東成区未来わがまち推進会議が他の地域団体等と連携して取り組む、区民主体のまちづくり活動を支援する。 ・勉強会への講師派遣:4回 ・区広報紙特集号の発行:1回 ・わがまちフォーラムの開催:1回	未来わがまち推進会議の活動に参加したいと思う区民の割合(フォーラム参加者アンケート):70%以上 【撤退基準】 上記目標が30%未満であれば、事業を再構築する。	【目標達成状況】 未来わがまち推進会議の10年間の活動に対して良かったと回答した区民の割合(76%) (※同会議は平成27年3月末をもって解散することになったため、目標と異なる指標でアンケートを取った。) 【取組実績】 ・全体会の開催:4回 ・班会議の開催:14回 ・区民まつりでの広報活動(8月) ・アドブトリバープログラムを活用し、平野川沿岸の清掃活動を実施:4回 ・区広報紙特集号の発行:1回 ・わがまちフォーラムの開催:1回	① (i)	○	今後の地域活動における自主・自立に向けた取り組みを促すとともに、これまでの活動経験や成果を活かす新たなステージの検討が必要である。	ふれ愛バンジーまちづくり活動支援事業や、公募型提案委託事業などの制度を創設し、新たな公益活動の創出・発展を支援するとともに、各地域の素晴らしい取組が他の地域にも広がっていくよう、情報交換の場を設ける。	

(※4)具体的取組の目標達成状況

- ①:目標達成(見込)
- (i)取組は予定どおり進捗
- (ii)取組は予定どおり進捗していない
- ②:目標未達成(見込)
- (i)取組は予定どおり進捗
- (ii)取組は予定どおり進捗していない
- ③:撤退基準未達成

(※5)具体的取組の戦略に対する有効性

- :有効
- ×:有効でないため見直す
- :中間アウトカム未設定(未測定)

[戦略1-3: 民間委託、CB/SB等の支援]

(1) 戦略の有効性評価

戦略のアウトカムに対する有効性	評価結果 (※1)	課題と今後の対応方向 ※評価結果が「イ」の場合のみ、記載
提案制度が地域のCB/SBの創出につながっていないため、アウトカムは順調に推移していない。今後、提案制度の本格実施により戦略の進捗を図ることで、アウトカムの上昇が見込まれるため、戦略はアウトカムに対して有効である。	ア	(課題) (対応方向)

(※1) 戦略のアウトカムに対する有効性
ア: 有効であり、継続して推進
イ: 有効でないため、戦略を見直す

(2) 戦略の進捗状況とアウトカムの達成状況

アウトカム	アウトカムの達成状況	前年度数値	評価結果(※2)	
			個別	全体
・コミュニティビジネスやソーシャルビジネスの意義やメリットを知っている人の割合: 平成26年度までに市民60%以上、職員100%	市民: 35% 職員: 45%	市民: 29% 職員: 42%	B	B
・市が関与したコミュニティビジネスやソーシャルビジネスの起業件数: 平成26年度までに12件	0件	0件	B	
・社会的ビジネス化された市の事務事業: 平成26年度までに1件	1件	1件	A	
戦略	戦略の進捗状況 ※評価結果が「C」の場合のみ、記載			評価結果 (※3)
CB/SBに係る相談会や講座の開催、区民が区役所に公共事業の提案ができる制度を構築することにより、区の事業を民間委託するとともに、区民・市民が福祉、教育、医療などの公共サービスを行い、収入を得られる事業化を支援する。				b

(※2) アウトカムの達成状況
A: 順調
B: 順調でない

(※3) 戦略の進捗状況
a: 順調
b: 順調でない
c: 中間アウトカム未設定

(3) 具体的取組の目標達成状況と戦略に対する有効性

取組内容	業績目標	目標達成状況・取組実績	評価結果 (※4)	戦略に対する有効性 (※5)	課題	改善策	市政改革プランとの関連
【1-3-1 区民による公益的活動の創出・発展支援事業】 (1-2-1 再掲) ふれ愛バンジーの場において、ラウンドテーブルの開催(年12回)や、活動団体の設立や発展のための相談(週1回)、区民の公益活動に係る情報の収集・発信の掲示板の提供等を実施し、区民主体の公益的活動の創出や持続的発展の支援をする。 また、提案制度により公益活動として委託する提案を受け、事業化を図る。	(1-2-1 再掲) ①ふれ愛バンジーを活用して公益的活動を創出または発展させた団体: 10団体 ②区民からの提案件数: 3件 【撤退基準】 ①上記目標が4団体未満であれば、事業を再構築する。 ②上記目標が1件もない場合は、事業を再構築する。	【目標達成状況】 ①ふれ愛バンジーを活用して公益的活動を創出または発展させた団体: 19団体 ②区民からの提案件数(ふれ愛バンジーでの公益的イベントアイデア募集に対する提案): 2件 【取組実績】 ・公益的活動に関するセミナー「バンジートーク」の開催(5回) ・CB/SBや市民活動に関する相談窓口の設置 ・ふれ愛バンジー公式ブログのリニューアル ・ふれ愛バンジーフェスタ(市民活動団体交流会)(1回)	② (i)	○	ふれ愛バンジーが活発に利用されているとはいえない状況である。 なお、提案制度については、事業提案を受けてから予算要求するのではなく、事前に予算枠を確保することとし、制度構築を行っている。	ふれ愛バンジーまちづくり活動支援事業(27年度新規事業)において、補助金を受けるにあたっては、ふれ愛バンジーでの公益的活動を要件とする。 提案制度については、市民協働による公募型提案委託事業として実施する。	(1-2-1 再掲) 1-(5)-ア① 1-(5)-イ② 1-(3)-ア③ 2-(3)-ア

(※4) 具体的取組の目標達成状況

- ①: 目標達成(見込)
- (i) 取組は予定どおり進捗
- (ii) 取組は予定どおり進捗していない
- ②: 目標未達成(見込)
- (i) 取組は予定どおり進捗
- (ii) 取組は予定どおり進捗していない
- ③: 撤退基準未達成

(※5) 具体的取組の戦略に対する有効性

- : 有効
- ×: 有効でないため見直す
- : 中間アウトカム未設定(未測定)

[戦略1-4: 区民活動に質する人・情報・物等が流通する仕組みの構築]

(1) 戦略の有効性評価

戦略のアウトカムに対する有効性	評価結果 (※1)	課題と今後の対応方向 ※評価結果が「イ」の場合のみ、記載
戦略の進捗により、ふれ愛バンジーを活用し、地域活動協議会をはじめとした区民活動の情報を区民が発信でき、情報を共有する仕組みづくりについては目標を達成したが、広く区民にその情報が届かず、また人や物が流通する状態には至っていないことから、戦略はアウトカムに対して有効でなく見直しが必要である。	イ	(課題) 地域活動を行う人や団体同士で一定の交流がうまれてたが、参画していない人にはその活動内容が見えにくい。 (対応方向) 単にイベント等の周知ではなく、活動報告などにおいて活動している人の顔や動きの見える情報発信ができるよう検討を行う。

(※1) 戦略のアウトカムに対する有効性
ア: 有効であり、継続して推進
イ: 有効でないため、戦略を見直す

(2) 戦略の進捗状況とアウトカムの達成状況

アウトカム	アウトカムの達成状況	前年度数値	評価結果(※2)	
			個別	全体
・情報流通等の仕組みに満足している区民の割合: 平成27年度までに60%以上	未測定 ※東成区の区政情報の入手先として、広報紙は77%、チラシ・パンフレットは20%、広報掲示板は15%になっている。	-	B	B
戦略	戦略の進捗状況 ※評価結果が「C」の場合のみ、記載			評価結果 (※3)
ふれ愛バンジーを活用し、地域活動協議会をはじめとした区民活動の情報を区民が掲載でき、情報共有できる仕組みをつくる。				a

(※2) アウトカムの達成状況
A: 順調
B: 順調でない

(※3) 戦略の進捗状況
a: 順調
b: 順調でない
c: 中間アウトカム未設定

(3) 具体的取組の目標達成状況と戦略に対する有効性

取組内容	業績目標	目標達成状況・取組実績	評価結果 (※4)	戦略に対する有効性 (※5)	課題	改善策	市政改革プランとの関連
【1-4-1 ブログやポータルサイト等を活用した人・情報・物等の流通の仕組みづくり】 人・情報・物等の資源が集まる「ふれ愛バンジー」のブログや掲示板などを活用し、区民・企業等が相互につながりを生み出せるよう情報発信機能の強化を図り、地域活動の活性化をめざす。	「ふれ愛バンジー」ブログや掲示板の利用団体数: 20団体 【撤退基準】 上記目標が10団体未満であれば、事業を再構築する。	【目標達成状況】 「ふれ愛バンジー」ブログや掲示板の利用団体数: 35団体 【取組実績】 ・ふれ愛バンジー公式ブログのリニューアル ・ふれ愛バンジーフェスタ(市民活動団体交流会)(1回)	① (i)	○	ブログのリニューアルや掲示板の整備を行ったものの、活発に活用されているとはいえない状況である。	区民が区政情報を入手するために活用されている広報紙等にも市民活動情報を積極的に掲載していく。	1-(5)-ア②

(※4) 具体的取組の目標達成状況
①: 目標達成
(i) 取組は予定どおり進捗
(ii) 取組は予定どおり進捗していない
②: 目標未達成
(i) 取組は予定どおり進捗
(ii) 取組は予定どおり進捗していない
③: 撤退基準未達成

(※5) 具体的取組の戦略に対する有効性
○: 有効
×: 有効でないため見直す
-: 中間アウトカム未設定(未測定)